

機械施設管理保全システム(MAPS)の概要

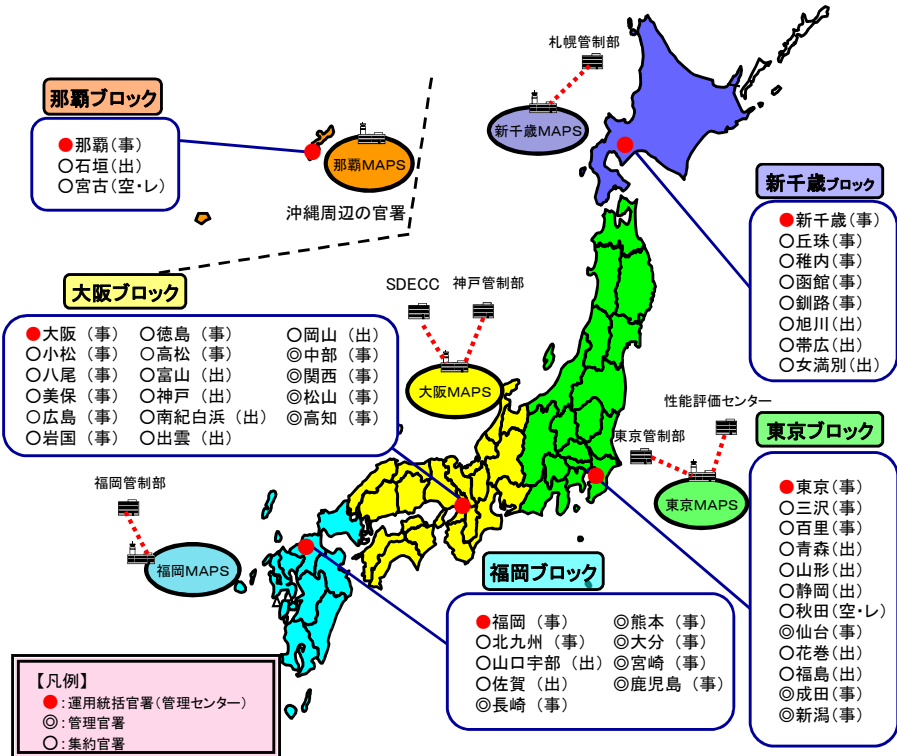
機械施設管理保全システム

機械施設管理保全システム(MAPS: Machinery facilities Administration Preservation System)は、各空港事務所等で予備電源設備(非常用発電設備、無停電電源設備等)を通信ネットワークを利用し遠隔にて状態監視と制御を効果的に実施するための装置である。

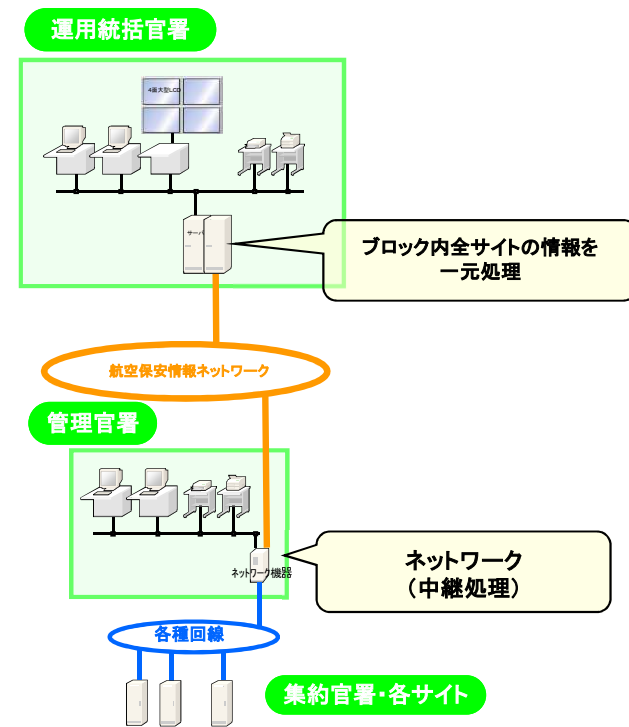
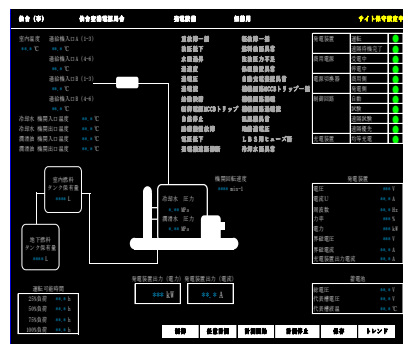
機械施設の管理

全国に点在する予備電源設備は、管轄区域を5ブロックに分割した各ブロックの運用統括官署(管理センター)を中心とした運用・管理を行っている。各管理センターではMAPSにて24時間リアルタイムで予備電源設備の運用状態を把握するとともに、商用電力に異常があった場合、非常用発電設備を遠隔で制御することで航空保安施設への安定した電力供給を行っている。また、MAPSにて装置の各種温度や圧力値などの計測データ及び変動傾向を監視することにより、設備の健全性を確保している。

管理センターの配置及びその管轄官署



監視画面の一例



非常用発電設備、無停電電源設備等の予備電源設備

